

# Linux ディストリビューション 「Debian」からオープンソースへ

OSC2026 Sendai  
東京エリア Debian 勉強会（出張版）

Debian JP Project  
杉本 典充  
dictoss@debian.or.jp

2026-06-06

# Agenda

- Debian とは？
- Debian JP Project と Debian 勉強会
- Debian とオープンソースの歴史
- 日本語で得られる Debian の情報源
- 今後のイベント



Debian とは？

# Debian とは？

## THE COMMUNITY

Debian is a Community of People!

DC25 Group Photo



Deb  
Conf 25  
Ezeiza

"Whoever takes without giving doesn't have any friend,  
whoever takes and gives gets love in every measure!"

## THE OPERATING SYSTEM

Debian is a complete Free Operating System!



Download

[Other downloads](#)

- <https://www.debian.org/>
- ボランティアで**フリー/オープン**で**ユニバーサル**な「オペレーティングシステム (OS)」を開発する「コミュニティ」

# Debian というオペレーティングシステム

Debian はボランティアのみで開発しています

ディストリ	企業	ボランティア
Fedora	Red Hat 支援あり	あり
CentOS Stream	Red Hat 支援あり	あり
RHEL <sup>1</sup>	Red Hat	なし
<b>Debian</b>	<b>なし</b>	<b>あり</b>
Ubuntu	Canonical	あり
openSUSE	SUSE 支援あり	あり
SLES <sup>2</sup>	SUSE	なし

<sup>1</sup>Red Hat Enterprise Linux

<sup>2</sup>SUSE Linux Enterprise Server

# Debian というオペレーティングシステム

- 様々な用途に使える汎用的な作り
  - ノート PC、デスクトップ PC などの普段利用するコンピュータの OS
  - Linux サーバの OS
    - web サーバのシェア (2026-05-31 時点)<sup>3</sup> :  
Linux サーバの内、Ubuntu 14.9 %、Debian 6.2 %、CentOS 1.4 %、AlmaLinux 0.3 %、Amazon Linux/Rocky Linux 0.2 %、Red Hat/CloudLinux/Gentoo 0.1 %、Unknown 76.5 %
  - 組込デバイスのベース OS (多くの CPU で動作する)
- 「Debian」ベースな派生 OS の源流
  - 例 : Ubuntu、Kali Linux、Raspberry Pi OS
  - 派生先のディストリビューションと相互に情報交換をして開発している

---

<sup>3</sup><https://w3techs.com/technologies/details/os-linux/all/all>

# Debian というオペレーティングシステム

- 最新の安定版は Debian 13 (2025 年 8 月 9 日リリース)
  - コードネーム: trixie
  - 2026 年 6 月時点のマイナー更新版 **Debian 13.5**
  - パッケージ数は **約 69,830** 以上を提供  
(前のリリースから約 8,844 パッケージが削除)
  - 公式にサポートする CPU アーキテクチャは **7つ**
    - amd64, arm64, armhf, armel, ppc64el, s390x, **riscv64**
    - ただし armel は一部制限あり
    - 7 つに含まれない i386 は限定的なサポートで提供
- 次の安定版 は Debian 14
  - コードネーム: **forky**
    - トイ・ストーリーのキャラクター名を採用
  - 2027 年夏頃にリリースすると思われる

# Debian というオペレーティングシステム

## リリースサイクル

- メジャーリリース：おおよそ 2 年ごと
  - Debian は time-based freeze を採用
- 標準サポート：3 年
- LTS<sup>4</sup>：標準サポート終了後から 2 年
  - 対象アーキテクチャは amd64、i386、arm 系に限定する  
場合が多い
  - 主要なパッケージのみサポート (全パッケージではない)
- Extended LTS：LTS 終了後から 5 年
  - 公式の Debian プロジェクトの運営ではなく、LTS をメンテナンスしている Freexian の商用サービス
  - 契約者がサポートするパッケージを指定する
  - 更新やセキュリティ修正したパッケージはすべての Debian ユーザーが無料で利用可能
  - お願い：できるだけ次のバージョンに上げてください

---

<sup>4</sup>Long Term Support

# Debian というコミュニティ

Debian への参加者は世界中にいます

- Debian 開発者 (Debian Developer、DD)
  - Debian Project の公式開発者
  - 約 56 ヶ国に 1,041 名 (2026-05-31 時点)<sup>5</sup>
  - 日本に在住している人は 32 人
  - 国別人数ではドイツ、アメリカ、フランス、イギリス、カナダ、オーストラリアに次いで日本は第 7 位
- Debian メンテナー (Debian Maintainer、DM)
- パッケージメンテナー
- ドキュメントなどの翻訳
- そのほかにも多くの貢献者たちが Debian に参加

---

<sup>5</sup>[https:](https://people.debian.org/~eriberto/udd/dd-by-country.html)

[//people.debian.org/~eriberto/udd/dd-by-country.html](https://people.debian.org/~eriberto/udd/dd-by-country.html)

# Debian というコミュニティ

- Debian 社会契約<sup>6</sup>
  - Debian 開発者 たちが目指すフリーソフトウェアコミュニティの在り方
- Debian フリーソフトウェアガイドライン (DFSG)
  - Debian 社会契約の一部
  - Debian が考えるフリーソフトウェアの定義
  - オープンソースの定義のひな形にもなっている
- Debian Policy<sup>7</sup>
  - Debian パッケージの区分、内容、ルール、ファイル配置の方針などの技術的な定義

---

<sup>6</sup>[https://www.debian.org/social\\_contract](https://www.debian.org/social_contract)

<sup>7</sup><https://www.debian.org/doc/debian-policy/>

# Debian というコミュニティ

## DebConf

- 年に一度、Debian 開発者がリアルに集まって開催するカンファレンス
  - ただし、2020 年と 2021 年は COVID-19 の影響でオンライン開催
- 最近の DebConf
  - 2022/07/17 - 07/24: DebConf22: Prizren, Kosovo
  - 2023/09/10 - 09/17: DebConf23: Kochi, India
  - 2024/07/28 - 08/04: DebConf24: Busan, South Korea
  - 2025/07/14 - 07/19: DebConf25: Brest, France
    - <https://debconf25.debconf.org/>
    - 発表のビデオがありますので見てみてください
  - 2026/07/20 - 07/25: Debconf26: Santa Fe, Argentina
    - <https://debconf26.debconf.org/>
  - **2027/09: DebConf27: Asahikawa, Japan**

A large, thick, pink brushstroke graphic that forms a circular shape, partially enclosing the text. The stroke is expressive and has a textured, hand-painted appearance.

Debian JP Project  
と  
Debian 勉強会

# Debian JP Project とは？

- <https://www.debian.or.jp/>
- 日本において Debian を普及させることを目的とした任意団体
- 活動内容
  - Debian の日本語による情報発信
  - ユーザとの情報交換
  - Debian 開発者やパッケージメンテナの育成など

# Debian 勉強会

- 2005 年 1 月開始 (Debian 開発者 上川さんが発起人)
- 東京と関西で月に一回コンスタントに開催している Debian 開発者、Debian ユーザによる勉強会
  - 東京エリア Debian 勉強会<sup>8</sup>
  - 関西 Debian 勉強会<sup>9</sup>
  - COVID-19 を契機に、2020 年 3 月から東京エリアと関西でオンラインによる合同勉強会を開催中
- 勉強会の目的
  - 定期的に集まる
  - 知見を資料にまとめて公開 (GPL-2+)  
<https://salsa.debian.org/tokyodebian-team/monthly-report>

---

<sup>8</sup><https://tokyodebian-team.pages.debian.net/>

<sup>9</sup><https://wiki.debian.org/KansaiDebianMeeting>

# Debian 勉強会: 最近の勉強会

- 勉強会の内容
  - Debian 界隈やパッケージング関連の話題など専門の人に話を聞く
  - Debian で気になった事柄を調べてレポートする
- 前回の内容 (5月):
  - 場所: オンライン
  - セミナー「イベント向けネットワークの設計・構築を試してみた (小規模・OpenWrt 編)」
  - BoF「よろず相談・情報共有会」
- 各地のイベントで Debian 普及活動
  - OSC2025 島根、OSC2025 北海道、OSC2025 東京、**OSC2026 仙台 (new)**
  - 関西オープンフォーラム
  - MiniDebConf Japan 2025 (北海道旭川市)



オープンソースという言葉  
の由来、知っていますか？

# オープンソースの定義 (1)

- オープンソースイニシアティブによる定義
  - <https://opensource.org/osd>
  - 初版 v1.0 1998-02
  - 最新版 v1.9 2007-03-22
  - web ページの最後に以下の注釈がある  
「The Open Source Definition was originally derived from the Debian Free Software Guidelines (DFSG).」
- 参考
  - 1993/08 Debian Project 開始
  - 1997/07/05 DFSG の初版発行

## オープンソースの定義 (2)

日本語訳 <https://opensource.jp/osd/osd19plain/>

- 1. 再頒布の自由
- 2. ソースコード
- 3. 派生ソフトウェア
- 4. 作者のソースコードの完全性 (integrity)
- 5. 個人やグループに対する差別の禁止
- 6. 利用する分野 (fields of endeavor) に対する差別の禁止
- 7. ライセンスの分配 (distribution)
- 8. 特定製品でのみ有効なライセンスの禁止
- 9. 他のソフトウェアを制限するライセンスの禁止
- 10. ライセンスは技術中立的でなければならない

# DFSG とオープンソースの定義の比較 (1)

左：DFSG v1.2、右：オープンソース v1.9  
[] 書きは原文の英語

- 1. 自由な再配布  
[Free  
Redistribution]
- 2. ソースコード
- 3. 派生ソフトウェア

- 1. 再頒布の自由  
[Free  
Redistribution]
- 2. ソースコード
- 3. 派生ソフトウェア

## DFSG とオープンソースの定義の比較 (2)

左：DFSG v1.2、右：オープンソース v1.9

[ ] 書きは原文の英語

- 4. 原作者によるソースコードの整合性維持 [Integrity of The Author's Source Code]
  - 5. すべての個人、団体の平等 [No Discrimination Against Persons or Groups]
- 4. 作者のソースコードの完全性 (integrity) [Integrity of The Author's Source Code]
  - 5. 個人やグループに対する差別の禁止 [No Discrimination Against Persons or Groups]

## DFSG とオープンソースの定義の比較 (3)

左：DFSG v1.2、右：オープンソース v1.9

[ ] 書きは原文の英語

- 6. 目標分野の平等  
[No Discrimination  
Against Fields of  
Endeavor]
  - 7. ライセンスの配  
布 [Distribution of  
License]
- 6. 利用する分野  
(fields of endeavor)  
に対する差別の禁  
止 [No  
Discrimination  
Against Fields of  
Endeavor]
  - 7. ライセンスの分  
配 (distribution)  
[Distribution of  
License]

# DFSG とオープンソースの定義の比較 (4)

左：DFSG v1.2、右：オープンソース v1.9  
[] 書きは原文の英語

- 8. ライセンスは Debian に限定されない
  - 9. ライセンスは他のソフトウェアを侵害しない
  - 10. フリーなライセンスの例 (GPL、BSD、および「Artistic」)
- 8. 特定製品でのみ有効なライセンスの禁止
  - 9. 他のソフトウェアを制限するライセンスの禁止
  - 10. ライセンスは技術中立的でなければならない

# オープンソース前史：UNIX

- 1969 年、アメリカのベル研究所にいたケン・トンプソンとデニス・リッチーで UNIX の原型となる OS を開発
- 1973 年、バージョン 4 で C 言語で書き直される（これまではアセンブラ言語を利用）
- 1973 年、シンポジウムで UNIX のことが公になる。当時、ベル研究所の親会社である AT&T は過去の裁判判決で研究結果を公表する義務があったため、UNIX のソースコードをメディア代と送料だけで希望者へ配布
  - この頃から、このソースコードを改修してライセンス販売する人たちが現れた
- 1979 年 1 月、ベル研究所版の UNIX の最終バージョン 7 をリリース
- UNIX のその後：1983 年に AT&T の解体が決定。AT&T 自身が UNIX を販売可能になりライセンス販売を開始したが、代わりに UNIX のソースコードを入手した人が自由に利用・販売できなくなった

# オープンソース前史：BSD

- 1978年3月、カリフォルニア大学バークレー校の大学院生であったビル・ジョイがUNIXのソースコードを元に「1BSD」を開発してリリース
- 1979年5月に「2BSD」(vi / csh を同梱)、1979年末に「3BSD」、1980年11月に「4BSD」をリリース
- 1992年3月、386BSDがリリース (Intel 80386 版)
- 1992年4月、UNIXのソースコードを配布するのは著作権違反として、AT&Tの子会社USLがカリフォルニア大学バークレー校を提訴 (和解成立は1994年2月)
- 1994年6月、AT&Tのライセンスに抵触しない「4.4BSD-Lite」が公開
- BSDのその後：BSDプロジェクトは「4.4BSD-Lite」をベースに開発する方針を決定し、1994年にNetBSD 1.0、FreeBSD 2.0をリリース。1996年にNetBSD 1.2からforkしてOpenBSD 2.0をリリース

# オープンソース前史：GNU プロジェクト

- 1983年9月27日、MITのリチャード・ストールマンが「GNU プロジェクト」を発表
- 1985年3月、GNU 宣言を発表し、4つの自由があると説明<sup>10</sup>
  - おおよそでいうとソフトウェアを、実行、コピー、配布、研究、変更、改良する自由を利用者が有する
- 1989年、GNU General Public License (GPL) を発表 (version 1)
- 1991年、GPLv2 発表
- 2007年6月、GPLv3 を発表

---

<sup>10</sup><https://www.gnu.org/philosophy/free-sw.ja.html#four-freedoms>

# オープンソース前史: Linux ディストリビューション

- 1991年9月17日、リーナス・トーバルズが linux カーネル「linux-0.01」をリリース
- 1992年、リーナス・トーバルズが linux-0.12 を GPL で公開
  - GPL なカーネルが使えるようになり、GNU プロジェクトの成果物と linux カーネルを組み合わせると OS が作れる状況になる 「GNU/Linux」
- 「GNU/Linux」の OS 環境一式を配布する人たちが現れる (Linux ディストリビューション)
  - 1993年、Red Hat 創立 (1995年5月に Red Hat Linux 1.0 リリース)
  - 1993年7月 パトリック・フォルカーディンが Slackware を公開
  - 1993年8月、イアン・マードックが Debian プロジェクトを開始

# そして、オープンソースへ

- 1997年7月5日、Debian プロジェクトが Debian Free Software Guidelines (DFSG) を発表
- 1998年2月、オープンソースイニシアティブがオープンソースの定義を発表
- 1998年3月、Netscape 社が自社 web ブラウザ「Netscape Navigator」をオープンソースで公開 (MPL を採用) し、「Mozilla」プロジェクトを発足
  - 2002年にその成果物として Firefox をリリース

## 参考文献

- 宮原 徹, 姉崎 章博 . オープンソースの教科書 . シーアンドアール研究所 , 2021
- 姉崎 章博 . OSS ライセンスを正しく理解するための本 . シーアンドアール研究所 , 2021
- Unix の歴史 <https://ja.wikipedia.org/wiki/UNIX>
- FreeBSD プロジェクトについて <https://docs.freebsd.org/ja/books/handbook/introduction/#history>
- Debian 小史 <https://www.debian.org/doc/manuals/project-history/index.ja.html>
- ウェブブラウザの歴史 <https://www.firefox.com/ja/more/browser-history/>

## 余談: Debian ライセンス話

Q. Debian では数万を超えるパッケージを配布しているがどこまでが「Debian」なのか？


## 余談: Debian ライセンス話

Q. Debian では数万を超えるパッケージを配布しているがどこまでが「Debian」なのか？

- A. 「Debian」で配布するパッケージのうち、main セクションに含まれるもの (= DFSG 準拠)

### 解説

- contrib はそのパッケージ自体は DFSG 準拠だが、依存ソフトウェアに DFSG 準拠でないものが必要
- non-free は利用や再配布に何らかの煩わしい制限があるもの
- non-free-firmware は利用や再配布に何らかの煩わしい制限がある blob ファイル (=バイナリのみ配布)
  - Debian Project でこのセクション追加の議案の投票を 2022/10 に行い、賛成多数で DFSG を改定
  - [https://www.debian.org/vote/2022/vote\\_003](https://www.debian.org/vote/2022/vote_003)
  - Debian 12 bookworm から追加された

A large, stylized pink brushstroke graphic that forms a circular shape, partially enclosing the text. The stroke is thick and has a textured, hand-painted appearance.

# 日本語で得られる Debian の 情報源

# 日本語で得られる Debian の情報源

- Debian JP Project  
<https://www.debian.or.jp>
- 東京エリア Debian 勉強会  
<https://tokyodebian-team.pages.debian.net/>
- 関西 Debian 勉強会  
<https://wiki.debian.org/KansaiDebianMeeting>
- X(旧 Twitter)  
@debian\_jp
- Connpass - Debian JP グループ  
<https://debianjp.connpass.com/>

A large, hand-drawn style pink spiral graphic that starts from the center and expands outwards, filling the right side of the page. It has a textured, brush-stroke appearance.

今後のイベント

# DebConf27 Asahikawa, Japan

DebConf27 は日本の北海道旭川市での開催が決定！

<https://lists.debian.org/debconf-announce/2026/02/msg00001.html>

- 2026/02/20 に DebConf27 開催候補地評価会議を実施
- 日本とポルトガルから提案が出ていたが、ポルトガルは最終的に辞退
- 日本の提案に対して質疑応答がされ概ね妥当となり、日本に決定！
- 提案書  
<https://wiki.debian.org/DebConf/27/Bids/Japan>
- 開催日は 2027/9 月頃で調整中

# 直近の予定

- 06/20 (土) 東京エリア・関西合同 Debian 勉強会 (オンライン開催)
  - <https://tokyodebian-team.pages.debian.net/2026-06.html>
  - 発表者を募集中
  - 勉強会を一緒に開催・運営してくれる方を募集中です！
- 隔週木曜日夜に DebConf27 Japan ローカルスタッフ会議開催中
  - <https://debianjp.connpass.com/>
  - スタッフ募集中です！